

(第6条関係)

事業計画書

事業名	子育てが楽しくなる地域コミュニティ事業
団体名	なないろのもり

取り組もうとする松戸市のテーマ(課題)	<p>2017年日経DUAL共働き子育てしやすい街ランキングにおいて、全国1位の松戸市ですが、それは乳幼児や保育園児に特化されていて、小学生以上の子供をもつ子育て世代が、それを実感できているという声はあまり聞こえてきません。</p> <p>私たちは子育て世代の当事者として、全国1位の街に暮らしていると実感するためには、日々の中で子育てが楽しい!と思える環境が不可欠と考えます。</p> <p>そこで、子供も大人も安心して楽しめる場所、幅広い年代の人が活躍でき、人と人が繋がれる場所をつくることで、地域の繋がりが生まれ、みんなで子供達を見守っていき、子育て世代は孤立することなく、安心して子育てできる地域になります。そして、地域の子育て世代のママパパに精神的な余裕が生まれ、いつか巣立っていく子供たちと関われる、今しかない子育ての時間、親子の時間を積極的に楽しめるのではないのでしょうか。</p>
事業の目的	<p>子育てが楽しいと感じる街づくり。</p> <p>親子で参加できるイベントを開催し、子供も大人も一緒に楽しい時間を共有する機会をつくります。</p> <p>イベントは参加型で、子育て世代を中心に、乳幼児から高齢者まで地域の人々や環境と関わる様々な体験や自己表現ができる機会にしていきます。</p> <p>子供も大人も新たな出会いや体験により、同じ世代間はもちろん、幅広い世代の方々との交流ができ、繋がりができることで、地域のネットワークが構築され、安心して子育てしやすい街になることが目的です。</p>
事業内容	<p>1 事業内容</p> <p>① 親子で楽しいクリスマスフェスティバルの開催</p> <ul style="list-style-type: none">・舞台は子供たちや親子で活動している団体がメインに出演。・出展者は市民や地元の商店の方々で、それぞれの専門分野や特技を披露してもらい、手作り品の販売や体験型ワークショップを多数出店。 <p>② 子供が主役の夏まつりの開催</p> <ul style="list-style-type: none">・学生の体験ボランティアを積極的に受け入れ、活躍してもらおう。・パート勤務など普段学童に通ってない子供達は、長期休みは留守番している子が大半なので、そういった子供達が安心して遊びに来られる場所を作る。 <p>③ 頭と体を使って遊ぼう体験会の開催</p> <ul style="list-style-type: none">・子供たちが普段できない体験などに挑戦できる内容に。 <ul style="list-style-type: none">・各回とも親子で一緒に楽しめる構成にする。・近隣の小学校、幼稚園、保育園等の協力を得る。・各イベントを定期的、継続的に開催していく。

2 スケジュール

	具体的な取り組み	作業内容、対象、場所など
4-6月	イベント準備、周知、学生ボランティア募集	チラシ作成、配布 Lets 体験の受け入れ
7-8月	②夏まつり開催	松戸市民活動サポートセンタ
9月	③体験会	松戸市施設、文化体験
10-11月	イベント準備、出展者の募集、周知	チラシ作成、近隣の学校等へ配架、協賛者への交渉
12月	① クリスマスフェスティバル開催	松戸市民活動サポートセンター、音響や子供達が安全に集える施設
1-3月	ふりかえり、集計	

既存の事業からステップアップする部分

事業の目標

- ・ 来場者延べ 1300 名を目指します。

2015 年からスタートしたクリスマスフェスタは 3 年目に 700 名以上の来場者がありました。今後はママがメインのイベントからパパやおじいちゃんおばあちゃん和多世代の方々も楽しめるようにしていきます。

2016 年からスタートした夏まつりは、中高生の体験ボランティアの子供達と一緒に企画、運営。来場者は平日の昼間にかかわらず、ロコミでも 100 名を超えました。普段、学童保育や保育園に通ってはず、長期休みは家にこもりがちな幼稚園児や小学生の居場所になります。

- ・ 会員、協力者を募ります。(100 家族目標)

毎回ご協力いただいている子育てファミリーや地域の商店の方々に、今後も賛同をいただけるよう、更に告知に力を入れます。

また、イベントに参加してくれた方が、次回はこんなことをやってみたい！と思ってもらえるような、どんなことでもいいので、子育て中のママやパパ達が地域で活躍できる、次の 1 歩を踏み出せるようなイベントにしていき、世代を超えているんな方々が携わり、賛同していただけるような雰囲気づくりに力を入れます。今後も継続していけるイベントにしていきます。

今後の展望

- ・ 認知度が上がり、定期的、継続的なイベントとして定着。

開催場所を室内に留まらず、屋外など広い場所で、更に広い地域からたくさんの方々に来場していただき、イベントで発信したい大人も子供も増えていってほしいと思っております。

- ・ 親子で挑戦できるコンテストやコンクールなどを開催。

普段からイベントに向けて親子で楽しめ、今より更に、参加型色の高いイベントにしていきたいです。

- ・ 日常的に安心して集える場所の確保。

大人も子供も、いつでも安心して集まれる場所づくりを実現したいです。

(第6条関係)

事業の予算概要

【収入】

(単位：円)

科目		金額	積算内訳
団体	事業収入	¥ 64,500	Xmasイベント出展料 2500円×6 2000円×12 ブース代3000円×8 500円×3
		¥3,500	夏まつりイベント出展料 ブース代500円×7
		¥ 24,000	夏まつり参加料300円×80人
	自己資金の合計額 (A)	¥ 92,000	
市	市民活動助成金 (B)	¥ 100,000	
合計額 (C) = (A+B)		¥ 192,000	

【支出】

科目		予算額	積算内訳
助成金の交付対象経費	報償費	¥ 13,000	体験会講師謝礼5000円 Xmasイベント保育士謝礼8000円
	委託料	¥ 18,000	Xmasイベント装飾制作費 3000円 イベントチラシデザイン制作費 5000円×3回
	消耗品費	¥ 38,920	イベント消耗品 (ガムテープ他) プリンターインク 4800円×2セット
			筆記用具 (カラーマーカー他) 体験イベント運動用具 巨大ビーチボール4700円×2
			夏まつり・Xmas装飾 模造紙 コピー用紙 マーカーコーン ストップウォッチ他
			スタンプラリー・ イベントチケットカラー紙 ブルーシート
	印刷製本費	¥ 42,400	Xmasイベントチラシ カラー印刷代 4000枚 なのいろのもりフライヤー3000枚 大型ポスター28400円
	使用料及び賃借料	¥ 29,280	会場費 夏まつり 10850円 Xmasイベント12630円 体験イベント5800円
	保険料	¥ 36,400	イベント保険 全イベント延べ1300人×28円
	食糧費	¥ 3,000	体験会イベント参加者 水 100円×30人
対象経費の合計 (D)		¥ 181,000	
その他経費	食糧費	¥ 6,000	Xmasイベント会員昼食代 500円×10人 水100×10人
	通信費	¥ 5,000	会員の交通費 500円×10人
	その他経費の合計 (E)	¥ 11,000	
合計額 (F) = (D+E)		¥ 192,000	

【チェック項目】

- 1 助成金 (B) が対象となる経費 (D) 欄の90%以内、自己資金 (A) 欄が対象経費 (D) 欄の10%以上であること。
- 2 助成金 (B) が、スタート助成の場合は1事業あたり10万円以内、ステップアップ助成の場合は1事業あたり30万円以内であること。